



経営継続補助金 (2次募集)

○目的

新型コロナウイルス感染症の影響を克服するため、感染拡大防止対策を行いつつ、販路の回復・開拓、生産・販売方法の確立・転換などの経営継続に向けた農林漁業者の取組を支援します。

○対象者 **農林漁業者 (個人・法人)**

※常時従業員が20人以下

※支援機関 (裏面) の支援を受けることが必要です。

○補助上限額

・単独申請	150万円
・グループ (共同) 申請	1,500万円

< 補助の対象となる経費 > (単独申請の例)

① 経営継続に関する 取組に要する経費

- ① 機械装置等費
- ② 広報費・展示会等出展費
- ③ 旅費
- ④ 開発・取得費
- ⑤ 雑役務費
- ⑥ 借料
- ⑦ 専門家謝金・専門家旅費
- ⑧ 設備処分費
- ⑨ 委託費・外注費

補助率 **3/4**

補助上限額 **100万円**

② 感染拡大防止 の取組に要する経費

- ① 消毒費用
- ② マスク費用
- ③ 清掃費用
- ④ 飛沫対策費用
- ⑤ 換気費用
- ⑥ その他の衛生管理費用
- ⑦ PR費用

補助率 **定額**

補助上限額 **50万円**

- ・使用目的が本事業の遂行に必要なものと明確に特定できる経費
- ・令和2年5月14日以降に発生し、事業期間中 (原則、令和3年2月末まで) に支払が完了した経費
- ・証拠資料等によって支払金額が確認できる経費

要件等は裏面へ

補助要件

「①経営の継続に関する取組」の補助対象経費の1/6以上を次のいずれかに充てる必要があります。

A 接触機会を減らす生産・販売への転換に要する経費

- (例1) 作業員間の接触を減らすための省力化機械等の導入 (※)
- (例2) 作業員間の距離を広げるための作業場や倉庫等におけるスペース統合やレイアウト変更
- (例3) 人と人の接触機会を減らす販売方法 (ネット販売、無人販売など) の開始

B 感染時の業務継続体制の構築に要する経費

- (例1) 人員削減等に備えた「事業継続計画」の策定
- (例2) Web会議システムの導入

※ 接触機会を減らす省力化機械等の例



農薬散布用ドローン



野菜苗移植機



発情発見装置



果実等自動選別機



漁船用高機能無線機

「支援機関」が農林漁業者の申請や事業の実施をサポートします。

<2次公募スケジュール>

- ★2次受付開始 10月19日
- ★2次受付 **JA締切 11月6日(金) 必着**
- ★採択等通知 (審査完了後)
- ★実績報告期限 R3年3月19日

<問い合わせ先> 「支援機関」あづみ農業協同組合

J A あづみ営農経済事業部 農業企画課 (☎ 72-2933)
穂高地域営農センター (☎ 83-5126) 堀金地域営農センター (☎ 73-2519)
豊科地域営農センター (☎ 71-3188) 三郷地域営農センター (☎ 77-2153)
梓川地域営農センター (☎ 78-3024) 安曇・奈川地域営農センター (☎ 79-2131)